

ふろしきデザインの美

▶会期

2022年4月6日(水)-6月12日(日)

▶開館時間

9:30~17:00 (入館は16:30まで)

▶休館日

月曜日(ただし5月2日(月)は開館)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更する場合がございます。 ご来館前に当館ホームページで最新情報をご確認ください。

▶入場料金

一般 510 (400) 円/高校・大学生 400 (320) 円/小中学生 200 (160) 円 ※() は 20 名以上の団体料金

※65歳以上の方(要公的証明)、障害者手帳をご提示の方(介護者1名を含む)は無料

京都府、京都府立堂本印象美術館、京都新聞

▶主催

► 特別協力 **★** 宮井株式会社

▶助成

一般財団法人地域創造

報道関係 お問合せ先 京都府立堂本印象美術館

TEL: 075-463-0007 FAX: 075-465-3099 MAIL: museum@d-insho.jp

展覧会概要

京都室町のふろしき・袱紗問屋が所蔵するふろしき原画を紹介します。 ふろしき・袱紗問屋は製造元として顧客の要望をきっかけに画家の意匠による多彩な ふろしきを製作してきました。

本展では、1952 年(昭和 27)に堂本印象が描いた春夏秋冬の原画をはじめとして池田遙邨、福田平八郎、山口華楊など著名な日本画家による名作ふろしきの数々を展観します。絵画とはまた異なる表情をもつふろしき原画の面白さをお楽しみください。

みどころ

▲ 25 作家 41 点のデザイン!

1952年(昭和27)、顧客の要望をきっかけに京都の老舗による展示会「洛趣会」に堂本印象原画のふろしき 4 柄(《春 遠山桜》《夏 朝顔》《秋 紅葉》《冬 松に雪》)が発表されました。以降、ふろしき・袱紗問屋は画家の原画による製品を多数製作してきました。

本展では、ふろしきを中心に袱紗、卓布など、著名な日本画家による原画 41 点を展示。全 25 作家による個性豊かな意匠の世界を紹介します。

・出品作家(50音順)

※ 平面から立体へ。ふろしきの多彩な表情を楽しむ

包むための布であるふろしき。包むものや包み方によって、平面時の図様から 思いがけない変化が楽しめるのもその魅力のひとつです。

本展では、ふろしき原画とあわせて、一部その原画から製作した現物を用いた ふろしき包みを展示します。平面の絵から

立体的な造形へ、その表情の変化を お楽しみください。

主要出品作品



東山魁夷 《カーネーション》

1958年(昭和33)頃



堂本印象《夏 朝顔》

1952年(昭和27)



山口蓬春 《草花》

1954年(昭和29)



望月春江《りんどう》

1963年(昭和38)頃



加藤栄三《紅葉》

1954年(昭和29)頃



池田遙邨《双鶴》

1965年(昭和40)頃

※すべて宮井株式会社蔵

関連 イベント

宮井 125 年の歩みとふろしき包み体験

(日 時)

2022年5月15日(日)14:00~15:00

講師

小山祥明氏(宮井株式会社企画開発室長・学芸員)

(定員) 1

15 名

(参加費) 無料(本展入場券または65歳以上の公的証明が必要)

- ・当日13:00より美術館ロビーにて整理券を配布します。
- ・会場については当館 HP でお知らせします。

同時開催

コレクション展 **印象の春と夏**

人気作《兎春野に遊ぶ》など、 当館コレクションより春夏の 情景を描いた作品 20 点を 展示します。



堂本印象 兎春野に遊ぶ 1938 年(昭和 13) 京都府立堂本印象美術館蔵

会場 新館展示室

- ・会期、開館時間は、包むを彩る展と同じ
- ・包むを彩る展のチケットでご覧いただけます

第5回堂本印象美術館野外彫刻展

京都彫刻家協会所属の21名の作家が春の庭園を彩ります。

(会場)

美術館庭園

(入場料)

無料

(主催)

京都府、京都彫刻家協会、京都府立堂本印象美術館

(助成

成 一般財団法人地域創造

(後 援

援 京都新聞

・会期、開館時間は、包むを彩る展と同じ

